



福岡看護大学大学院

GRADUATE SCHOOL OF NURSING, FUKUOKA NURSING COLLEGE



看護学研究科

看護学専攻

修士課程

2022

令和4年度

理事長メッセージ

グローバル化の潮流の中で、世界は激しく揺れ動き、わが国では少子超高齢化が急速に進む中、社会の各分野において明るい未来を切り開いていくことのできる優れた人材の育成が、高等教育機関に強く求められています。

学校法人福岡学園では、このような社会の変化を見据え、「口腔の健康を通して全身の健康を守る」ことをモットーに、2017年4月の福岡看護大学設立に引き続き2021年4月に大学院修士課程を開設しました。

さらなる地域医療の質向上と健康長寿社会実現への貢献を果たすことを目的に、看護を受ける方一人ひとりの尊厳を保ち、その人らしい最適な暮らし(well-being)を支える看護専門職者に対して指導的立場にたつ教育者、研究者、管理者などの人材育成を目指します。

本学が位置する福岡市は、古くから対外交流の玄関口として繁栄した歴史と文化を有し、数多くの史跡等が残されています。また、豊かな自然環境の中、都市機能が年々充実しており、学生数は人口比で全国3位という活気あふれる学生の街です。

皆さんも本学大学院で共に学び、国民から信頼され、愛される看護分野の教育・研究者、管理者として羽ばたかれることを願ってやみません。



学校法人 福岡学園 理事長
九州大学 名誉教授
すいた さちよ
水田 祥代

九州大学医学部卒業、九州大学大学院医学研究科修了。英国留学、福岡市立こども病院・感染症センター小児外科部長、九州大学医学部小児外科学講座教授を経て、2004年4月九州大学病院長、2008年10月九州大学理事・副学長に就任。2010年6月から学校法人福岡学園(旧福岡歯科学園)理事・評議員。2011年から同法人常務理事を務め、2015年3月より、理事長に就任。

学長メッセージ



福岡看護大学 学長
くぼた けいこ
窪田 恵子

国立久留米病院附属高等看護学院卒業、看護研究研修センター・厚生省幹部看護教員養成課程卒業、九州芸術工科大学芸術工学研究科芸術工学専攻修了[博士(芸術工学)]。福岡大学病院看護部長、西南女学院大学保健福祉学部看護学科教授、福岡女学院看護大学看護学部看護学科教授、福岡看護大学設置準備室室長、福岡歯科大学客員教授を経て2017年4月、福岡看護大学学長に就任。

福岡看護大学は、2017年に「一人ひとりの尊厳が保たれ、安心して快適にその人らしい暮らし(well-being)を支える看護専門職の育成」を目指して開学しました。2021年4月には大学院看護学研究科を開設し、口腔から全身への健康支援に資する看護実践力、研究能力を基盤とした上で、①看護実践現場を牽引する看護指導者や看護管理者を目指す人材、または、②臨床や学校等での看護教育の指導者を目指す人材の養成を目指します。

昨今、医療看護の現場においては、少子高齢化の進展、医療技術の進歩、在宅医療の推進、看護教育水準の向上などから、これらに対応した新たな看護実践・看護継続教育のあり方や医療社会に対応できる看護職の養成が課題となっております。看護職者にはこれまで以上に、患者の生活の質(well-being)向上のための専門性の高い看護判断や看護技術、高い倫理観を有することが求められています。

本大学院では、看護実践に関する事象を学術的に研究し、科学的根拠の検証と看護実践の開発・改善に活かすことのできる指導的な看護職者と、研究の成果を看護教育の実践・充実に活かしながら教育面で指導的な役割を果たす看護職者を育成する大学院教育課程を準備しています。

地域社会の保健・医療・福祉の向上へ貢献すべく教育研究活動の推進に向けて、皆様と一緒に一歩を踏み出せることを願っています。

学校法人 福岡学園

■ 医療・保健・福祉の総合学園としての強みを活かした独自の教育環境

学校法人「福岡学園」は福岡歯科大学をはじめ、福岡歯科大学医科歯科総合病院、福岡歯科大学口腔医療センター、福岡医療短期大学を設置し、キャンパス内に介護老人保健施設や特別養護老人ホーム、保育園を擁する医療・保健・福祉の総合学園です。



福岡歯科大学



福岡歯科大学医科歯科総合病院



福岡歯科大学口腔医療センター



福岡医療短期大学



べんぜん保育園



介護老人保健施設
サンシャインシティ



社会福祉法人 学而会
特別養護老人ホーム
サンシャインプラザ



社会福祉法人 学而会
特別養護老人ホーム
サンシャインセンター

研究科長メッセージ

日々進歩する医療を支え、人々の健康を維持する保健を推進するためには、高度な専門性だけでなく「何故」を追求する心が必要です。看護師として臨床現場でぶつかった疑問や自分自身が行ってきた看護ケアが適切であったのか、など解決したい課題を持ち、明らかにして行く過程を経てより良い看護実践がなされてゆきます。また、保健師として地域での保健指導や公衆衛生の推進において、より高度なレベルを目指すためにも、さらに教育分野でよりすぐれた教育・研究を実現してゆく為にも、自身の知性と論理的思考能力の涵養が必須です。その為に、看護を科学する能力と研究・教育の基礎をより高い教育課程である修士過程で磨いてみませんか。

論理的思考やその応用を学ぶためには、やはり一定期間集中してその作法を身につける必要があります。本大学院では福岡歯科大学や医科歯科総合病院など恵まれた研究環境が整っており、多職種による指導が可能です。特に超高齢社会で注目されている口腔医学分野では先駆的看護研究もなされており、今後、我が国の医療を支える領域となります。

教職員が一丸となって院生の一人一人に応じた研究環境を提供し指導します。既存の知識を得るだけでなく、自ら創造し、これから大きく発展するこの新しい分野を切り開く進取の気持ちと好奇心を持って皆様と伴に切磋琢磨できることを願っています。



福岡看護大学 副学長
福岡看護大学大学院 研究科長

ちしやき あきこ
檗木 晶子

九州大学医学部医学科卒業、同大学院医学研究科修士、同大学病院循環器内科入局、米国留学、九州大学病院・助手、講師を経て九州大学医学部保健学科・助教授の後、教授。きらめきプロジェクトキャリア支援センター副センター長、九州大学総長特別補佐、九州大学医学部保健学科長を経て、2020年4月より福岡学園客員教授、福岡歯科大学医科歯科総合病院健診センター長。

看護実践現場を牽引する看護指導者や管理者を目指す人材、
臨床や学校等での看護教育を目指す人材を育成します。

■ 福岡学園 沿革

1972	学校法人福岡歯科学園寄附行為認可 福岡歯科大学設置認可
1973	福岡歯科大学附属病院開設 福岡歯科大学開学
1985	福岡歯科大学大学院開設
1997	福岡医療短期大学開学
1999	福岡医療短期大学専攻科歯科衛生学専攻開設
2000	福岡医療短期大学保健福祉学科開設
2002	介護老人保健施設サンシャインシティ開設
2005	病院名を福岡歯科大学医科歯科総合病院に改称
2008	福岡医療短期大学歯科衛生学科の専攻科が大学評価・学位授与機構の認可をえて学士(口腔保健学)の専攻科として認定
2011	法人名を福岡学園に変更認可 福岡歯科大学口腔医療センターを開設
2013	福岡歯科大学歯学部歯学科を口腔歯学部口腔歯学科に名称変更
2017	福岡看護大学開学 ペんぎん保育園開園
2020	福岡歯科大学医科歯科総合病院新病院開院
2021	福岡医療短期大学保健福祉学科廃止 福岡看護大学看護学研究科看護学専攻修士課程開設

看護学専攻修士課程の教育目標

「学びの方針」

3つのポリシー

教育研究上の目的

看護学研究科では、「多様に発展する医療分野で活躍するための高度で知的な素養を養うことを目的とし、看護学の専門知識や能力を基礎として、より高度な看護実践と看護教育活動を行うために、専門知識を応用する能力と課題に対する柔軟な思考力や深い洞察に基づく主体的な行動力を身に付けるための教育を行う。また、学部段階の教育で養成された看護学分野の基礎的な資質能力の修得を前提として、口腔から全身への健康支援に資する看護実践力を備え、看護の研究活動を遂行する能力を培う教育を行う。」こととしています。

アドミッション・ポリシー

「入学者受入方針」

1. 看護学分野、口腔医療に対する興味と関心並びに学習意欲を有している。
2. 看護学分野の基礎的な知識及び基本的な技術と態度を有している。
3. 物事を多面的かつ論理的に考察し、適切に判断することができる。
4. 自分の考えを的確に表現し、相手に確実に伝達することができる。

カリキュラム・ポリシー

「教育課程編成・実施の方針」

1. 対象者のwell-beingを目指した適切な健康支援のあり方と高度なコミュニケーション技法を活用した応用的な看護実践能力を養成するために「看護基盤科目」を配置する。
2. エビデンスに基づく口腔ケアを提案・推進する看護実践能力を基盤とし、高い倫理観、看護管理、看護教育など、看護活動に関する専門的な能力を養成するために「看護統合科目」を配置する。
3. 様々な健康状態や多様な場で看護を必要とする人々への看護に対し、科学的な思考のもと、質の高い看護ケアを創設する能力を養成するために「看護領域科目」を配置する。
4. 看護実践を質的・量的な側面から扱う研究手法や研究倫理、研究課題を探求し、研究計画を遂行する能力や批判力、論理性、表現力を養成するために「看護研究科目」を配置する。

大学院看護学研究科看護学専攻においては、2年以上在学し、所定の単位を修得するとともに、所定の研究指導を受けて、修士論文を提出の後、論文審査及び口頭試問による試験に合格した者であり、次に掲げる能力を有すると認められる者に修士(看護学)の学位を授与します。

ディプロマ・ポリシー

「学位授与の方針」

1. 口腔を起点として全身の健康を支援する看護実践の質的転換を図る能力を身に付けている。
2. 看護活動に関する最新の知見や動向に関する理解と看護活動における俯瞰的なものの見方や実践的な应用能力を身に付けている。
3. 看護の対象の特性や看護の場面に応じた現象を科学的に探究し、臨床教育・継続教育で実践するための高度な専門知識と应用能力を身に付けている。
4. 看護実践の改善・開発に必要な研究マインドと、医療看護を対象とする看護研究の遂行能力を身に付けている。

授業科目及び修了要件

学びのコース / カリキュラム

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数	
			必修	選択
看護基盤科目	健康支援特論	1年前期	2	
	対人関係特論	1年後期	2	
看護統合科目	□腔医療看護特論	1年通年	4	
	看護教育特論	2年通年	4	
	看護倫理特論	1年通年		4
	看護管理特論	2年通年		4
	看護情報特論	1年通年		4
	看護援助特論	1年通年		4
看護領域科目	成人看護特論	1年通年		4
	高齢者看護特論	1年通年		4
	精神看護特論	1年通年		4
	母子看護特論	1年通年		4
	公衆衛生看護特論	1年通年		4
	看護領域演習	2年前期	2	
	看護研究方法	1年前期	2	
	看護特別研究	1年通年、2年通年	8	

修了要件

修了要件については、体系的に教育の課程を履修し、修了に必要な単位として、「看護特別研究」8単位を含む32単位以上を修得するとともに、所定の研究指導を受けて、修士論文を提出の後、論文審査及び口頭試問による試験に合格すること。

看護特別研究内容

＼ 教員紹介 ＼

看護特別研究担当教員の研究内容

*研究指導内容は下記に限ったものではありません。

担当教員	研究内容	
基礎・基礎看護部門	窪田 恵子	循環機能障害をもつ人の観察とアセスメント及び循環器系に機能障害をもつ人に対する看護について研究指導を行う。
	青木 久恵	認知カウンセリング技法を活用した関連図を用いた学習支援法及び学習者の思考過程を支援するチャートを活用した教授法の有用性について研究指導を行う。
	岡田 賢司	病原微生物に関する知識を感染症に対する対応及び感染予防や感染症患者の看護の実際へ応用・発展させることについて研究指導を行う。
	晴佐久 悟	口腔機能の低下と食欲・体力低下との関係及び器質的口腔ケアと機能的口腔ケアによるオーラルフレイル予防効果や誤嚥性肺炎をはじめとする口腔内細菌による感染予防について研究指導を行う。
	梶原 江美	多様な健康問題を持つ対象者の身体状況の診査や診査に基づく臨床判断をするためのフィジカルアセスメント技術について研究指導を行う。
健康支援看護部門	樗木 晶子	心不全患者の身体と認知や精神機能の的確なアセスメント及び心不全増悪因子の評価と症状緩和のための看護ケアについて研究指導を行う。
	飯野 英親	先天異常や染色体異常など遺伝性疾患による健康障害をもつ子どもとその家族がより良い療養生活を送るための看護援助の方法について研究指導を行う。
	岩本 利恵	難病を抱える患者における自己超越性が高まる要因及び自己超越性と主観的健康観や主体的幸福感との相関関係について研究指導を行う。
	永田 華千代	褥瘡にみられる肩こりや下肢浮腫などの不快症状に対する看護介入方法として背部マッサージを用いた看護ケアについて研究指導を行う。
地域・在宅看護部門	中島 富有子	精神疾患を有する人の社会参加に向けた精神科看護師の意欲の向上を高めるための方法論及び社会参加支援を促進するリーダー育成の取組みと課題について研究指導を行う。
	角森 輝美	地域で生活する人々や働く人々の健康障害の予防から健康づくりや健康生活を支援するための活動計画や実践活動に関する問題について研究指導を行う。
	宮園 真美	高齢者や心疾患患者などの血管機能が低下した対象への温熱刺激による生理的・心理反応と看護への応用について研究指導を行う。
	吉田 大悟	地域一般住民における認知症発症リスクについて、認知症の危険因子とされる糖尿病・高血圧・喫煙と防御因子とされる食習慣や運動習慣との関連について研究指導を行う。

／ 修学支援 ／

長期履修制度

職業を有している場合、修業年限の2年を超えて3年あるいは4年での履修を認める制度です。学費についても3年または4年の在籍期間に応じて分割納入することが可能となり、就業しながらでも修学できるよう配慮されています。

また、履修指導や研究指導は、専任教員が対象院生と相談をしながら、勤務状況や生活実態を考慮し、個別対応を行います。

ティーチング・アシスタント制度

大学院に在学する院生を対象に、ティーチング・アシスタント(以下TA)制度を設けています。TA制度とは、院生が担当教員の指導・監督の下、学部教育における教授法や教材作成の学修、教育面でのリーダーシップの育成などを図る機会を提供することを目的としており、手当も支給されます。

／ 卒業後の進路 ／

高度専門職業人として

- 保健・医療・福祉・看護の分野において、各看護領域における質の高い看護ケアの提供に携わり、看護実践の現場での管理職として中核的な役割を担う。
- 保健医療、福祉及び行政機関における専門職

研究者・教育者として

- 看護学分野に関する専門的な知識と応用する能力とともに、看護学研究に必要な研究手法を身につけ博士課程へ進学し研究職・教育職を目指す。
- 国公立及び民間各種研究機関研究員
- 大学教育・研究機関における教員及び研究員

／ 施設紹介 ／



【エントランスホール／1F】

3階まで吹き抜けになっており、きらきらと光が差し込むエントランスホール。



【学生ホール／2F】

自習はもちろん、休憩スペースとして自由に使えます。近代看護の生みの親、フローレンス・ナイチンゲールのステンドグラスが学生を見守ります。



【情報処理実習室／2F】

120台のパソコンを設置。放課後は自習など自由に使用できます。



【情報図書館／1F】

看護学分野の学修に必要な専門図書、学術雑誌、電子ジャーナル、映像資料が充実しています。



大学院概要

名称	看護学研究科 看護学専攻 修士課程
入学定員	5名 [収容定員10名]
修業年限	2年 [長期履修制度あり]
学位	修士 [看護学]
入学金	200,000円 [本学出身者100,000円]
授業料等	700,000円 [授業料600,000円/教育充実資金100,000円]



入学試験

入学試験区分	一般入試	社会人入試
募集人数	前期3名 後期2名(一般入試・社会人入試あわせて)	
出願期間	[前期] 2021年9月6日(月)~2021年9月13日(月)必着 [後期] 2022年1月4日(火)~2022年1月12日(水)必着	
試験日	[前期] 2021年9月21日(火) [後期] 2022年1月19日(水)	
合格発表	[前期] 2021年10月4日(月) [後期] 2022年1月31日(月)	
試験科目	○英語 ○小論文 ○面接試験	○小論文 ○面接試験
入学検定料	35,000円	

*英和辞書一冊のみ使用可

※出願にあたっては、あらかじめ希望する研究指導教員と相談のうえ、手続きを進めてください。

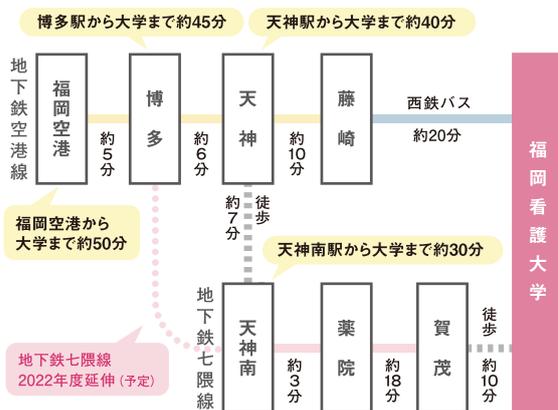
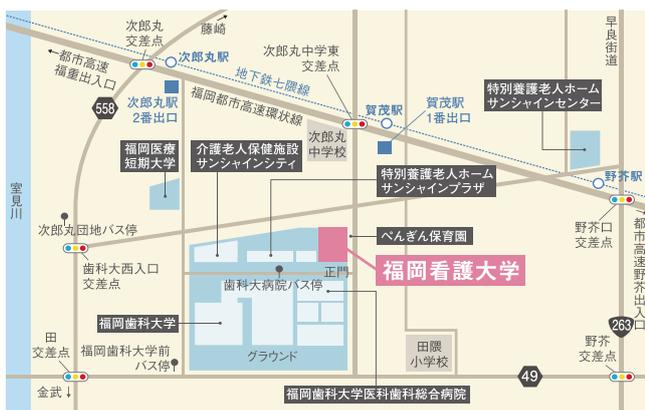
※詳細は入試要項で必ず確認してください。

事務問い合わせ先
教務課 TEL 092-801-0485

アクセスマップ

ACCESS MAP

福岡看護大学は地下鉄七隈線「賀茂」駅から徒歩10分。
博多、天神、福岡空港、各エリアからのアクセスも便利です。



学校法人 福岡学園

福岡看護大学大学院

GRADUATE SCHOOL OF NURSING, FUKUOKA NURSING COLLEGE

〒814-0193 福岡県福岡市早良区田村二丁目15番1号 [教務課] TEL.092-801-0485 FAX.092-801-0412

お問い合わせ・受付対応時間9:00~17:00(土日祝休)

[URL] <https://www.fdcnet.ac.jp/ncol/> [E-mail] fncgs@college.fdcnet.ac.jp



学校法人 福岡学園

福岡歯科大学 福岡歯科大学医科歯科総合病院 福岡歯科大学口腔医療センター 福岡看護大学
福岡医療短期大学 介護老人保健施設[サンシャインシティ] ペんぎん保育園